

# SSKS

## 社会福祉法人結の会

# オフィス クローバー



o f f i c e c l o v e r

# ニュース

## 2021年

巣ごもれないーもう巣ごもれない せめぎ合い 冬号



## 目 次

(オフィス クローバーのページ)	
新型コロナウイルス感染予防対策／大量封入作業	P 2
池袋防災館／和洋女子大リモート授業	P 3
忘年会／区役所での自主製品販売 (社会福祉法人結の会のページ) 理事会報告	P 4
(読み物) 『武蔵野の春』	P 5
投稿作品／主な予定／編集後記	P 6

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年ですと「秋の旅」や「クリスマスミニコンサート」のご報告などを掲載するところですが、みんなで集まったり、ちょっと遠くへ出かけ、みんなで食事をする事ができません。通常全8ページの構成でお届するニュースレターではありますが、今号では夏号同様に全6ページとなっております。当施設の新型コロナウイルス感染予防対策をご紹介します。今号のタイトルにもあるように、「自粛が長引き辛い」という声も聞こえてきます。それでも、私たちは私たちのできることを確実にやっていこうと思います。私たち福祉利用者と福祉従事者も頑張ります！

## オフィス クローバーのページ

### 新型コロナウイルス感染予防対策



一般就労にまだ自信を持ってない精神障害者を対象に、働く場を提供し、能力向上などの必要な訓練を行うところです。

所内の密を避けるため、2020年7月16日より利用者が在宅勤務を行うことで工賃収入を得られるように、運営規程の改定を行い、個別支援計画も全利用者に対して作成し直しました。職員に対しては「特別有給休暇」の付与(毎月3日分、30分毎取得可)を実施し、出退勤時のラッシュを避け感染リスクを減らせるよう、職場として配慮を続けています。所外作業については、歌舞伎町を含めた区内の現場に出向く看板清掃の作業人数を減らした上で作業工程も簡略化して実施し、直行直帰も取り入れ継続しています。新宿中央公園での花壇整備作業は、利用者の参加を中止し職員だけで行ったり、状況を見て再開したりを繰り返しています。2回目の緊急事態宣言を受け、1月中は見学者の受け入れ、OBの面接を中止とし、実習生の受け入れはリモートを活用したり、時間を短縮するなどして実施しています。すべての案件を毎日2回行う利用者とのミーティングで意見を吸い上げたうえでスタッフミーティングで決定をし、当施設に係る全員で考えて決めるという事を大切に実行しています。引き続き、所内の常時換気、手洗いとうがい、手と指の消毒、マスクの着用、毎日の検温と所内のアルコール消毒を徹底し活動を続けていきます。(松田)



来訪者に消毒を徹底



検温も依頼

### 大量封入作業



今年もNHK旧友会様より大量の封入発送作業を受託しました。コロナ禍で、通所人数を減らしていたため、例年に比べると人手不足でしたが、1日に完成させる目標値を決め、全体で進捗を共有しながら、利用者、職員共に力を合わせて無事に発送することができました。初めて作業に関わる利用者に先輩利用者が作業のコツを教え、お互い声を掛け合いながら協力し合う姿がとても頼もしかったです。

(渡邊)



中央には山積み of 部材が…

## 池袋防災館

2020年12月7日、職員4名利用者13名で池袋防災館に行って来ました。密を避けるため2グループに分かれ、自分は1グループで最初に「消火」コーナーの体験をし、消火器の使い方の説明を聞きました。①ピンを抜き②ホースの先を持ち③最後にレバーを押す順番で火の画面に向かって放水します。2つ目は「煙」コーナーでハンカチを口に当てて塞ぎ、姿勢を低くして脱出するためのルートを確認しながら、目的地まで視界が不自由な中向かいます。3つ目は地震コーナーで東日本大震災の際に東北地方で発生したマグニチュード9.0震度7の揺れを体験し身動きが取れない程でした。枕で頭を覆い収まるのを耐えているだけで力尽きそうになり、身近な所で自然現象の恐ろしさを痛感させられ必需品等を備える事が重要と思いました。（鈴木）



消火活動開始～！！

## 和洋女子大リモート授業

2020年12月9日にZOOMを使用した授業に講師として、利用者4名と職員1名が参加しました。オフィスクローバーの作業スペースの一角や相談室を使用して、9:00～12:10ごろまでの時間をいただき、発表を行いました。参加したのは、1,2限の「精神看護援助論」の授業で、体験談や精神保健福祉士の役割についての発表を120名以上の学生の皆さんが聞いてくださいました。「貴重な当事者の体験を聞いて良かった。」「オフィスクローバーのような地域で支援する施設があることを初めて知った」など大きな反響を得られ、1年がかりの準備は大変だったけれど、有意義であったと感じることが出来ました。（松田）



初めてのZOOMに緊張です



感染予防対策を施しながら講演

### 【体験談を発表した利用者より一言】

自分の発病した時の事やその後オフィスクローバーを利用するまでの事や、入所してからの毎日について話しました。それから、困っている事や将来の夢についても話しました。以上の事が和洋女子大学の学生の皆様の学びの役に立つといいと思いました。私にとっても、いい経験になりました。（ゴマちゃん）





## 忘年会

例年の形式にとらわれず、工夫をして出来る限りのやり方で実行しよう！と、開催に至った忘年会。日を決めず、12月はずーっと忘年会月間としたり、テーブルを囲んでの軽食は中止だけれど、その代わりにお菓子の詰め合わせを配布することにした。マイクを回して一人一言発言をしていた1年の振り返りは、付箋に記入して12月中は所内にずーっと掲示。皆で集まって行っていたビンゴ大会は、あみだクジ形式に変更し密を避けました。クジの結果を興味深く眺めたり、付箋のコメントをじっくり読んだりする姿が印象的な新しい形の忘年会でしたが、開催を喜ぶ声も多く、実行して良かったと心から思いました。



ドキドキのあみだクジ

（坂本）



## 区役所での自主製品販売

自主製品の販売機会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、激減していました。そのような状況の中、2020年12月3日に新宿区より新宿区役所本庁舎地下一階において販売の機会を頂き、久しぶりに自主製品を売ることが出来ました。感染予防対策のため、職員2名のみでの参加で時間も2時間までとなりましたが、多くの関係者に足を運んで頂き、2万円程の売り上げとなりました。また、しQハニーの代理販売も行い、売れ行きは好調でした。

（小庄司）



コロナ禍でも売れました

## 社会福祉法人結の会のページ

オフィス クローバーを運営する社会福祉法人の本部です。

## 理事会報告



2021年1月21日、2020年度第3回理事会を開催しました。2020年度は対面での開催を中止し、議案書を郵送して理事の同意書及び監事の確認書を得る方法を用いてきましたが、今回は ZOOM を使用したリモート開催としました。はじめは調整に時間がかかりましたが、理事及び監事の皆様のご協力により、無事開催に至りました。審議事項はなく、2020年4月～2021年1月の社会福祉法人結の会法人本部及びB型事業の事業実施状況をパワーポイントを用いてご報告することができました。（松田）

# 読み物



## 『 武蔵野の冬 』

淑行

西武線の線路沿いに Y 駅まで達する路傍には、一面に冬の枯草が敷き詰められていた。そこには、昨夜からの雪の湿り気がえも言えぬ香りを湧き立たせている——これが武蔵野の香りだ。

わたしは病院の外来の帰りには、必ず多摩湖線沿いの雑木林の散策路を行く事としている——思えば長いものだ。早くも三〇年近く経つ。

雑木林にはヒヨドリやムクドリの鳴き声がした。冷たく張り詰めた空気に鋭い鳴き声、樹の梢には黒い影が走る。

かつて、焚火が許されていた頃は、ここに紫色の煙と香りが立ち込め、それが冷気と混り合っただけでも言えぬ情緒をかき立てていた。かの国木田独歩が描いた世界だ。

焚き火が禁止され、かつての趣きは思い出とはなった。然し、病院から続く雑木林のある路傍に行くのは、ここに長年親しんでいる者ならではの愉悦である。

やがて病が癒えるかの様に春が来る。その頃にはこの武蔵野の香りに突き刺さるかの様にジンチョウゲの花の香りが混る。こうなると春の到来だ。

多くの思い出と美しい自然の楽しみ、それもまた、わたしにとっての大きな宝物である。



### 新作!! 手漉き一筆箋 (3枚入り150円)



新作、手漉き一筆箋の登場です!!  
かわいい動物柄3種を1セットにして、「ふらっと新宿四谷店」等で販売中です!!  
3枚(別柄) ¥150



《投稿作品》

『冬日』

淑行

冬の日差しは

こころの暖爐

冬木立ちにふと差し込んで来た

こころのぬくもり

四十雀の囀りに

しばれる季節の到来を聴く

この冬のひととき

春の到来を待ち侘びる

草木の梢に

儚ない夢とときめきを偲ばせつ

来るべき次の季節に

すべてを委せて

歩みを進める このわたし



《主な予定》

1月～2月 定期面談

3月 所内作業ミーティング

3月18日 第4回理事会

※ 毎月25日は工賃日です。印鑑をお忘れなく！

《編集後記》

緊急事態宣言の再発令や新型コロナウイルス感染者数などの動向を見極め、日々の判断を求められる中、オフィス クローバーの活動を利用者と職員とで、話し合っ  
て決めていくことが定着しています。毎日、午前と午後の作業開始前に報告事項を伝  
えたり、検討事項を話し合っています。「2月からの見学者の受け入れをどうしようか  
？」と尋ねると「もう少し様子を見てはどうだろうか」「新しい人を受入れず、今いる人  
だけで固定する事はよくないのでは」など、素敵な発言がいっぱいです。（松田）

オフィス クローバー 〒169-0075 新宿区高田馬場 3-18-25 第1康洋ビル 7階 TEL 03-3365-4177 FAX 03-3365-4178 E-mail yuinokai@axel.ocn.ne.jp <a href="https://yuinokai-clover.com/">https://yuinokai-clover.com/</a>	編集：淑行・和泉 仁科・松田 イラスト：淑行 入力・印刷・発送： オフィス クローバー	発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルトウラ祖師谷 102号室 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価 150円
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------